

情報発信へJVで市民向けイベントも

(大村氏) ホームメックス・エステム共同企業体では、農業集落排水関連はホームメックス、公共下水道関連はエステムという役割分担の下で、汚水処理事業に係るライフサイクルコストの最適化を目標に取り組んでいます。当初は手探りの状況の中で色々と模索しながら取り組んできましたが、これまでの2年間を振り返ってみると、水質管理という点では着実に実施できていると思っています。今後は、さらに精度を高め効率化を追求しながら、社会貢献や地域貢献ということをもっと考えていきたいですね。豊田市では昨年、夏休みの親子向け行事として「親子上下水道探検隊」というイベントを行っています。JVとしてもこうしたイベントに協力しながら、地域の方々に汚水処理というものを知ってもらい、地域の理解の下で安全・安心なサービスを提供していければと考えています。

(上野氏) 豊田市における包括事業の最大の特徴は、管理地域が広域に及ぶだけでなく地域住民の方々との距離が近いという点にあると思います。民家に隣接した施設で点検を行うことが多いので、地域の方々とのコミュニケーションは不可欠であり、さまざまな情報発信を通じて理解を求めながら、安全で効率的な事業運営に努めています。業務内容については、遠方監視や点検体制などでさらに精度を高められる部分があるので、JV間での情報共有や市との連携を図りながら、次の5年を見据えてより良い事業体制の構築に取り組んでまいります。



ホームメックス・エステム共同企業体
事務局長 大村 彰彦 氏



ホームメックス・エステム共同企業体
副総括責任者 上野 英和 氏